

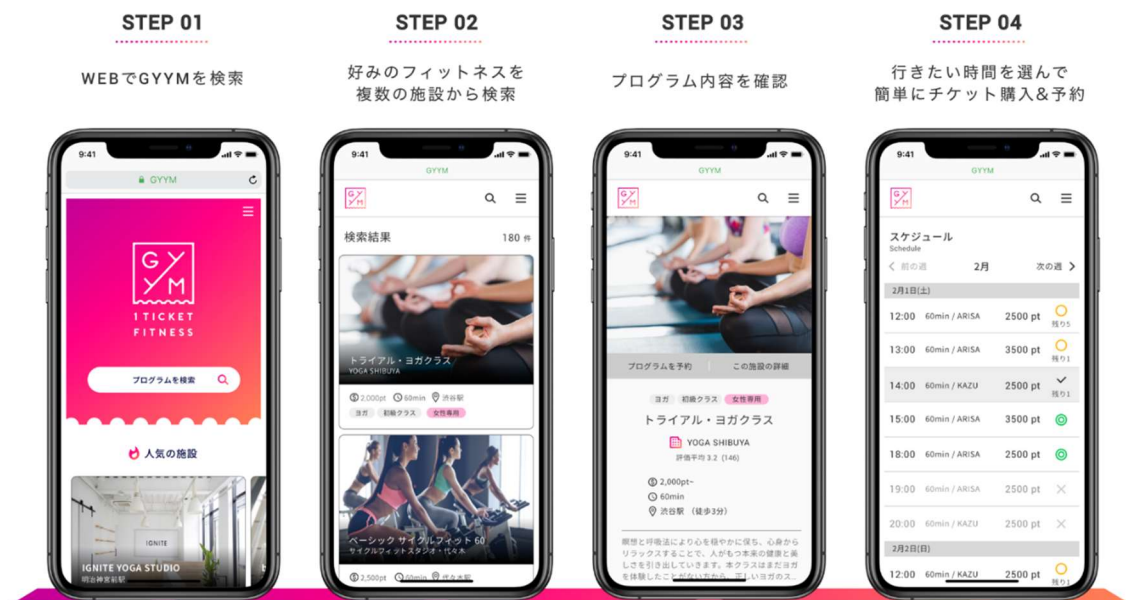
2020年1月27日

報道関係各位

三菱地所株式会社
GYM 株式会社

三菱地所の「新事業提案制度」から生まれた新しい形のフィットネス施設利用 好きな時に、好きなだけ。個別入会せずに様々なフィットネス施設に通える 運動をより身近で自由にする WEB サービス「GYM」^{ジーム}始動

三菱地所株式会社の新事業提案制度より設立したGYM（ジーム）株式会社（代表取締役：加川 洋平／橋本 龍也、三菱地所100%子会社）は、2020年1月27日よりWEBサービス「GYM」をプレローンチします。本サービスは、様々なフィットネス施設を、好きな時に好きなだけ、個別の入会金や月会費等の固定費用を支払うことなく予約・利用が可能な「1 TICKET FITNESS（ワン・チケット・フィットネス＝都度利用制度）」です。利用に伴う決済は「GYM」内で完結し、また各施設での会員情報の入力等も不要となるため、ユーザーは手軽に運動を開始できます。約2か月間のプレローンチ期間を経て、本年4月に正式サービスのリリースを予定しています。



▲「GYM」利用フローイメージ図

「GYM」は、日々忙しく過ごす大人が、手軽で自由に運動に取り組める環境の提供を目的として事業化されました。昨今、様々な形態のジム・スタジオが営業を行っていますが、個別に契約を行う場合、ジム・スタジオ毎に月会費や入会金等の費用が発生してしまい、気軽な利用が難しい状況にあります。「GYM」では、ワンストップでフィットネス施設の検索・予約・決済までをカバーすることで、複数のジム・スタジオを利用する際の心理的・金銭的な障壁を取り除きます。

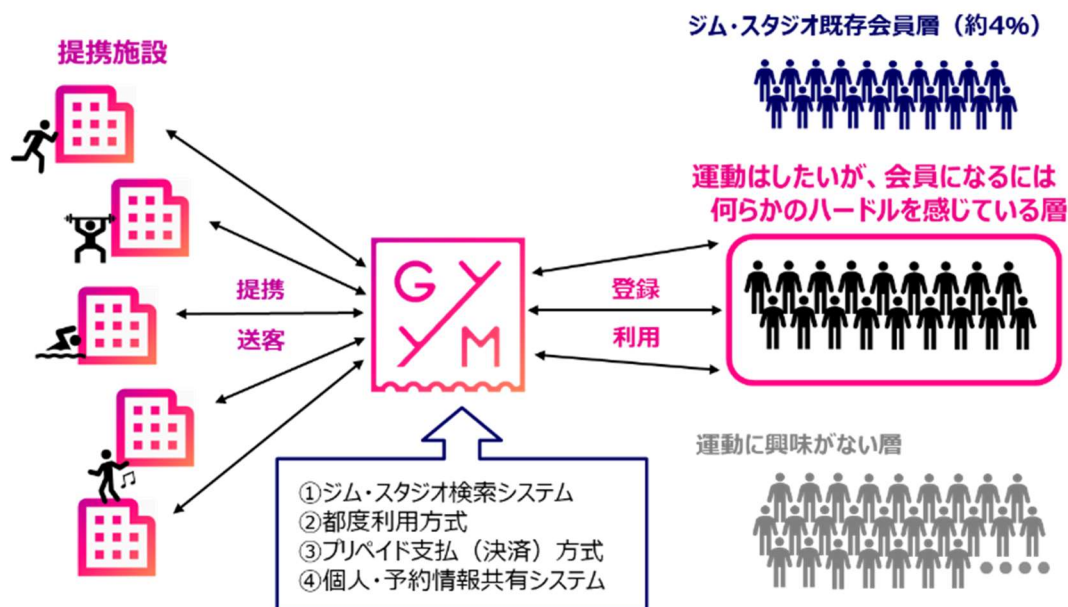
利用料金については施設の混雑状況によって価格を変動させるダイナミック・プライシングを導入しており、時間帯によっては割安に施設利用が可能です。「GYM」を通じて友人や同僚、家族との気軽な共同利用を促進することで、より多くの方が気軽に運動に取り組む環境作りを目指します。

「GYM」に加盟するジム・スタジオの施設運営者にとっては、本サービスを通じて都度利用の付加収益の獲得、新規会員獲得機会の向上が期待できます。今後は三菱地所グループ内でのシナジー実現のため、テナントサービスの一環としての導入や、グループの商業・ホテル施設との連携も検討し、より多くのお客様に利用いただけるジムプラットフォームとなることを目指していきます。

本事業は、三菱地所の新規事業提案制度にて提案・採択され実現に至りました。同制度では、過去3年間で70件超の提案があり、そのうち本事業を含む4件が事業化しているほか、複数案件が事業化に向け進捗しています。三菱地所は、今後も既存ビジネスとのシナジーが期待される新事業をはじめ、街づくりに関わるあらゆるサービスの提供を目指していきます。

1. 「GYYM」サービスの特徴

- ジム・スタジオの施設運営者とユーザーとを繋ぐ IT プラットフォームを構築。「集客・収益性を高めたい」ジム等と、「自分にあったジム等を探したい」「月会費を無駄にすることなくジムを利用したい（＝都度利用したい）」ユーザーのニーズをマッチング。



▲サービス概念図

【ユーザー側メリット】

- ユーザーは、GYYM で「ジム等の検索」「予約」「決済」「都度利用」が可能。予約情報は、GYYM が予めジム等に共有するため、施設での入会手続き等は原則、一切不要。
- 1都3県、計59施設（2020年1月27日時点）のジム・フィットネスの中から、好きな時に自由に選んで利用可能。

【施設運営者側メリット】

- GYYM に施設情報や提供しているフィットネスプログラム情報を掲載し、新たなユーザー層（主にライトユーザー）へリーチすることが可能。
- 施設利用料金・プログラム参加料金をダイナミック・プライシングで値付けすることで、稼働率向上や収益最大化を実現。
- 施設運営者は、ユーザーの利用料金の一部を送客手数料として GYYM に支払うビジネスモデルで、施設運営者による固定費支払いは一切不要。

【施設運営者宛説明会のご案内】

- 「GYYM」に関心をお持ちいただいたフィットネス施設運営者様を対象に、下記日程にて説明会を開催いたします。尚、1都3県から事業拡大を行うため、当該エリアの施設運営者様を優先的にご案内させて頂く場合や、お申し込みを締め切らせて頂く場合があります。
- ① 2月24日（月）13：00～14：30（受付開始12：30） 大手町パークビル 3F
- ② 2月28日（金）13：00～14：30（受付開始12：30） 大手町パークビル 3F
- お申し込み方法：下記メールアドレス宛に、件名「GYYM 説明会参加申し込み」と記載の上、ご希望の日程を添えてご連絡ください。詳細をご案内いたします。

メールアドレス：partner_contact@gyym.co.jp

記載事項：参加ご希望の説明会（①または②）、施設運営者様名、ご参加者様名

申込期限：2月20日（木）13：00 まで

【2020 年 1 月 27 日時点の提携施設】

施設・ブランド名称	対象施設数	予約開始時期
b-monster 暗闇ボクシングスタジオ	4	2020年2月中を予定
loIve 女性専用ホットヨガスタジオ	4	2020年2月中を予定
pilates K 女性専用マシン専門ピラティススタジオ	1	2020年2月中を予定
EXPA RIZAP開発の女性専用暗闇フィットネス	9	本日より、2月1日以降の予約開始
SIXPAD STATION 近未来型EMSトレーニング・ジム	3	本日より、一部施設（1施設）に限定して 2月1日以降の予約開始
カーディオ・バー バレエエクササイズスタジオ	3	2020年3月中を予定
AMI-IDA 女性専用 天然溶岩石ホットヨガ	30	本日より、一部施設（5施設）に限定して 2月1日以降の予約開始
GRIT NATION 新感覚サーキットトレーニングジム	2	本日より、2月1日以降の予約開始
ASICS RUN TOKYO MARUNOUCHI 丸の内のランニングステーション	1	本日より、2月1日以降の予約開始
IGNITE YOGA ヨガスタジオ	1	本日より、2月1日以降の予約開始
Studio Beaura ヨガスタジオ	1	2020年2月中を予定
合計	59	

2. 三菱地所グループの顧客ストックへのアプローチ

- 丸の内エリアの就業者約 28 万人をターゲットに、丸の内エリアに設置されている「デジタルサイネージ」等を活用した広告・認知訴求。テナント企業への法人サービスの提供も視野に入れる。
- 三菱地所のレジデンスクラブ会員※ 約 60 万世帯をターゲットに、会報誌等での利用促進、付帯サービスの導入を予定。
- 三菱地所グループの商業施設・ホテル・空港来場者数を合わせた年間約 2 億人の顧客接点を生かした、販促活動、インバウンド顧客に向けたサービス提供も視野に入れる。

※三菱地所のレジデンスクラブ：三菱地所グループの住宅関連サービス情報を網羅的に提供する、顧客向け会員組織。
(<https://www.resiclub.com/>)

3. GYYM 株式会社について

会社名 GYYM 株式会社（読み方；ジーム 英語表記；GYYM, Inc.）

所在地 〒100-8133 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号

設立日 2019 年 11 月 22 日

資本金 1 億円

主要株主 三菱地所（100%子会社）

事業内容 フィットネス運営施設への送客支援サービス

役員 代表取締役 加川洋平（事業提案者）

代表取締役 橋本龍也（事業提案者）

サービス開始 2020 年 1 月 27 日 プレローンチ

2020 年 4 月 公式オープン

URL <https://gyym.jp>

※スマートフォン、パソコン、タブレット等、インターネットに繋がる環境であれば
どのデバイスでもご利用できます。

<推奨ブラウザ>

Windows PC : Microsoft Edge 最新版 / Firefox 最新版 / Chrome 最新版

Mac : Firefox 最新版 / Safari 最新版 / Chrome 最新版

Android™ : 標準ブラウザ 最新版 / Chrome 最新版

iPhone : Safari 最新版 / Chrome 最新版

iPad : Safari 最新版 / Chrome 最新版

【代表取締役（事業提案者）紹介】

代表取締役 加川 洋平（2011 年度三菱地所入社）

代表取締役 橋本 龍也（2011 年度三菱地所入社）

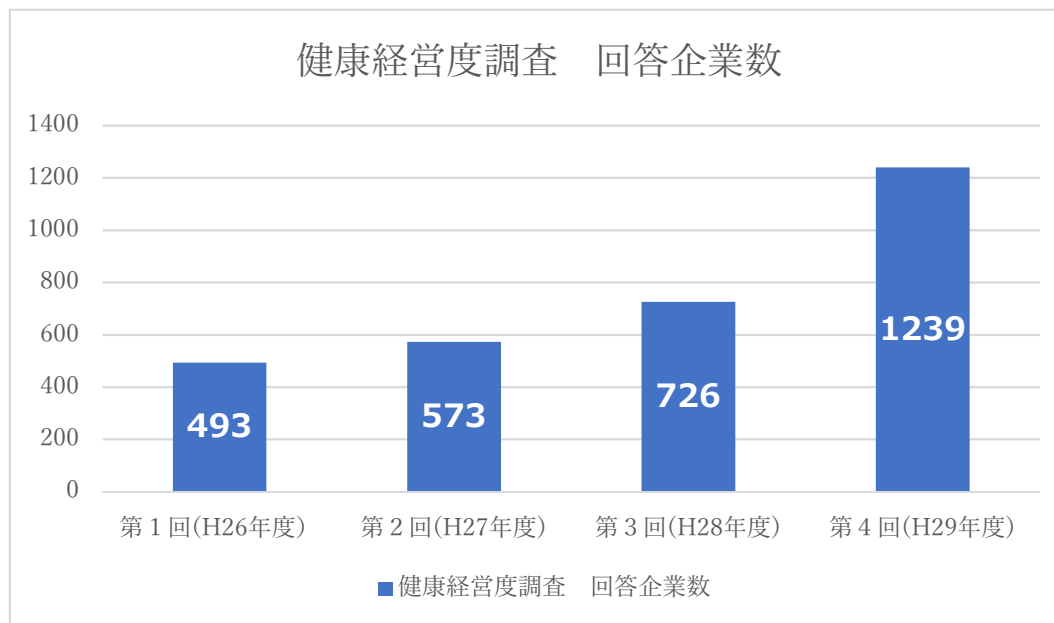
仕事や子育て等により、自分の時間を確保することが難しい人や、過去にジムに通っていたが続かずに辞めてしまった人でも、自分のペースで気軽に運動を始め、継続できる環境を提供したいとの思いから本事業の提案に至りました。

昨今、コンセプト型のフィットネスを始め、様々な形態のジム・スタジオが増えている中、各施設のプログラム内容・サービスはより磨かれていますが、その良さが多くの人に伝わっていないことを課題に感じています。各施設やプログラムの特徴をより詳細に把握することができ、好きな時に好きなだけ、行きたいジムやプログラムを”選択”できるジムプラットフォームを構築し、沢山の人が自由に運動を楽しめる、これからの時代のフィットネスを創り上げます。

(ご参考：日本のフィットネス業界のトレンドについて)

【健康志向の高まり】

- 日本の少子高齢化で、65歳未満の生産年齢人口が加速度的に減少する中、労働力減少に伴う経済活動の停滞が懸念され、より長く健康な状態で働くことが求められる社会に。
- 従業員の健康保持・増進が将来的な収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康経営を戦略的に実践する企業が大幅増加。



平成30年7月 経済産業省「健康経営の推進について」より

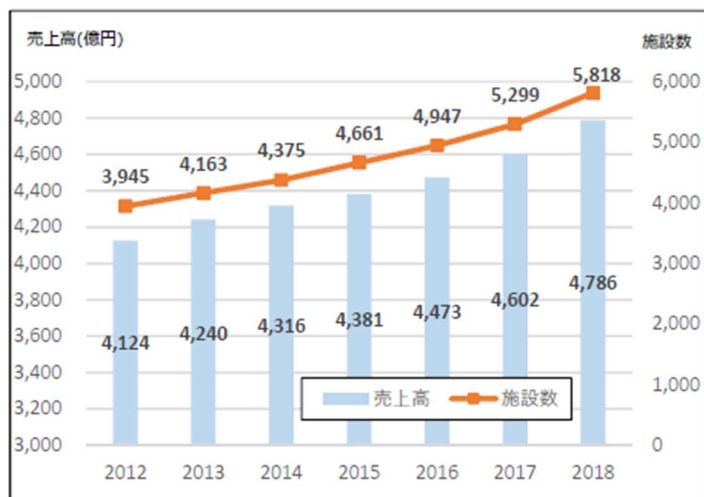
【フィットネス市場】

- 売上高・施設数ともに右肩上がりに推移し、市場規模は拡大基調。フィットネス会員数も増加しており、2018年には国内総人口に占めるフィットネス会員数が初めて4%を超える水準を記録。しかし、欧米諸外国に比べて著しく低い水準は続く。
- 大手総合ジムが会員獲得に苦戦する中、24時間営業のジムや女性専用サーキットジム、ホットヨガスタジオ、暗闇フィットネス（ブティック系スタジオ）等の専門小型店が好調。

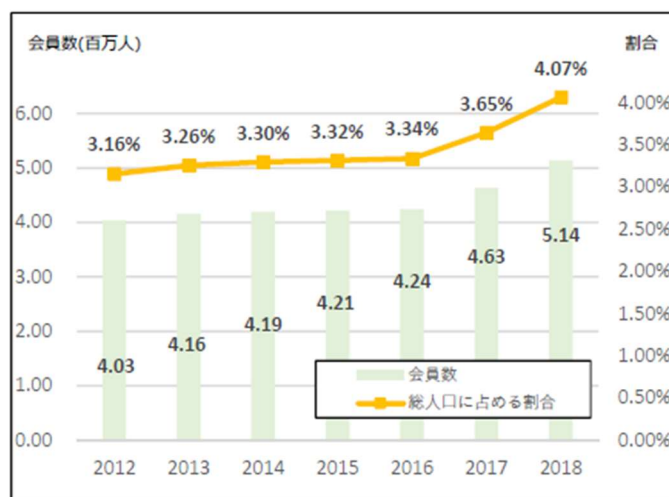
■ジムの運営者が抱える課題

- ✓ 効率的な集客ができず、広告費が経営の重荷。販促チャンネルが不足。
- ✓ 時間帯による需要のばらつきが大きく、低い稼働率の時間帯は利益を獲得することが難しい。

■フィットネス業界の売上高・施設数推移



■フィットネスクラブ会員数推移



(株)クラブビジネスジャパン「日本のクラブ業界のトレンド」より